

2020年・被爆75年へ、核兵器のない世界の扉を開こう

核兵器禁止へ行動する非核・平和の日本を

日本政府は被爆国にふさわしく 核保有国に禁止を迫るべき

いま国際連合総会では、核軍縮について各国代表が議論しています。焦点は、核兵器禁止・廃絶へ国際社会が行動することです。

そういう中、日本が出した決議案に、核兵器使用への「深い懸念」や、核保有国も合意し実行する義務のある「核兵器のない世界」に関する記述がなくなったことが分かりました。核兵器禁止条約には

まったく触れられていません。

被爆国の政府であれば、ヒロシマ・ナガサキの惨禍やヒバクシャの願いをふまえて、核保有国に核兵器禁止への決断と行動を迫るべきです。私たち一人ひとりが声をあげなくてはなりません。「ヒバクシャ国際署名」にご協力をお願いします。(2019・11・6)



自治体も「政府は一刻も早く、核兵器禁止条約の署名・批准を」の声

10月24、25日、東京都・国立市で「平和首長会議」の国内加盟都市総会が開かれました。核兵器廃絶をめざす「平和首長会議」には163か国・地域の7833都市、日本から1732都市（全自治体の99.5%）が参加しています。

総会は、安倍首相宛に核兵器禁止条約を「一刻も早く署名・批准」することを求める要望書を提出することを決めました。

「ヒバクシャ国際署名」はQRコードからオンラインでお願いします！



国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)
Tel:03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>

原水爆禁止大阪府協議会(大阪原水協)
Tel:06-6765-2552 HP:<http://www.osk-gensuikyoo.jp/>